
AWL Pad (8インチ)

ユーザーマニュアル V1.0

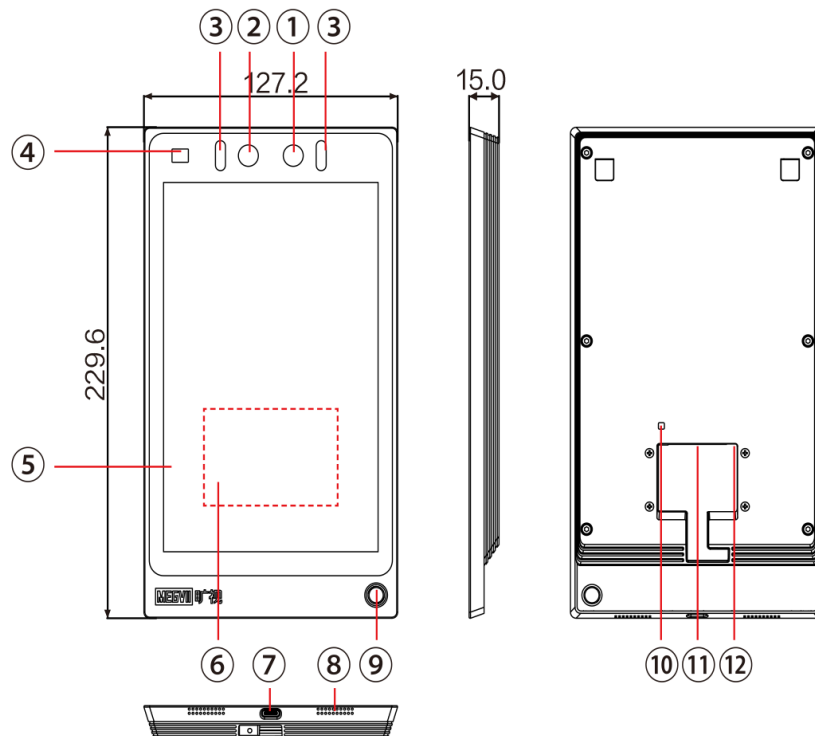
目次

第 1 章 製品概要	4
1.1 製品紹介	4
第 2 章 デバイス操作手順	5
2.1 初期設定とナビゲーション	5
2.1.1 デバイスの電源起動	5
2.1.2 ネットワーク接続設定	6
2.1.3 管理モードの選択	7
2.1.4 アプリケーションの選択	8
2.2 認識画面	9
2.2.1 認識画面	9
2.2.2 スタンバイモード	9
2.2.3 エンジニアリングモード	10
2.3 個人管理	10
2.3.1 人員の追加 (編集担当者)	11
2.3.2 個人の検索と削除	13
2.3.3 グループの追加	15
2.3.4 グループの検索と削除	16
2.3.5 グループ情報の編集	16
2.4 アクセス制御管理	17
2.4.1 アクセス制御パラメータ設定	17
2.4.2 アクセス制御プランの追加	18
2.4.3 アクセス制御プランの変更と削除	19
2.5 通行記録	20
2.5.1 通行記録リスト	20
2.5.2 通行記録の検索	20
2.5.3 通行記録のカレンダー検索	21
2.6 データ管理	22
2.6.1 USB ドライブの接続	22
2.6.2 データのエクスポート	23
2.6.3 データのインポート	24
2.6.4 工場出荷時設定の復元	24
2.7 システム管理	25

2.7.1 ネットワーク設定	25
2.7.2 顔パラメータ	26
2.7.3 通信設定	28
2.7.4 個性設定	29
2.7.5 デバイス管理	30
5.8 感染症対策の体温測定	31
安全上の注意	33

第 1 章 製品概要

1.1 製品紹介



①	可視光カメラ	映像を撮影します
②	赤外線カメラ	赤外線映像を撮影します。
③	赤外線補助光	赤外線カメラの補助をします。
④	ディスプレイ	7インチのタッチスクリーン
⑤	スピーカー	音を出します
⑥	ICカードリーダー	ICカードを読み取ります
⑦	USBポート	typeCのUSBポート
⑧	インジケータライト	電源とアクセス結果を点灯
⑨	改ざん防止ボタン	改ざんを防ぎます
⑩	RS232 デバッグポート	トラブルシューティングとアップグレード時に使用します
⑪	ケーブルポート	電源などの接続ポート
⑫	リセットボタン	長押しで工場出荷時に戻します。

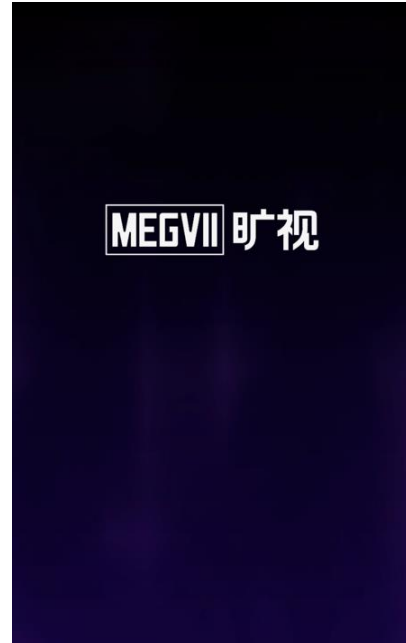
第 2 章 デバイス操作手順

2.1 初期設定とナビゲーション

2.1.1 デバイスの電源起動

電源に接続すると、デバイスは自動的に起動します。右の図の様なスタートアップ画面が表示されます。

。



デバイスを初めて使用するとき、または工場出荷時の設定に戻した後に、起動時に設定ページが表示されます。

This is a screenshot of the 'Activate device' screen. At the top right, there is a small 'Activate' button. The main title is 'Activate device'. Below the title, there are three input fields: 'User name' with the value 'admin', 'Password' with the label 'Required', and 'Confirm password' with the label 'Required'. At the bottom, there is a note: 'Password should have 6-16 characters and contain at least two of letters, numbers and symbols'.This is a screenshot of the 'Activate device' screen, showing the state after password input. The 'User name' field still shows 'admin'. The 'Password' field now shows '*****' and has a red error message 'Low security' to its right. The 'Confirm password' field has a red error message 'Cannot be empty' to its right. The same password requirement note is at the bottom.

デフォルトのユーザー名は「admin」です。

- 「password」フィールドをタップして、スクリーン キーボードを表示し、希望のパスワードを入力します。
- 「confirm password」フィールドをタップし、前と同じパスワードを入力します。

- 「Activate」をタップしてパスワードを設定し、次のステップに進みます。

注：インターネット接続で使用される場合セキュリティを向上の為、6 から 16 文字のパスワードを設定する必要があります。

2.1.2 ネットワーク接続設定

ローカル接続：

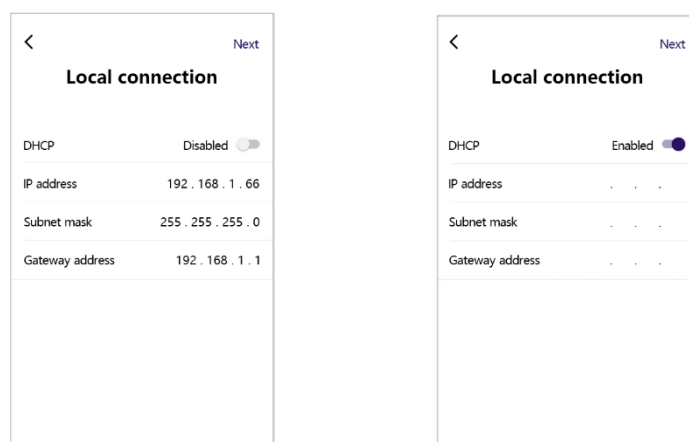
ローカル接続をセットアップするには、デバイスを LAN ケーブルで接続し、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイなどのネットワークパラメータを設定します。DHCP を使用する場合は、DHCP を有効にして、ネットワークに関連情報を自動的に提供させることができます。「Next」をタップします。

デフォルト IP アドレス：192.168.1.66。

デフォルト ゲートウェイ：255.255.255.0。

- 構成情報（IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ）を手動で入力または変更した後、[Next] をタップして次の構成ページに移動します。

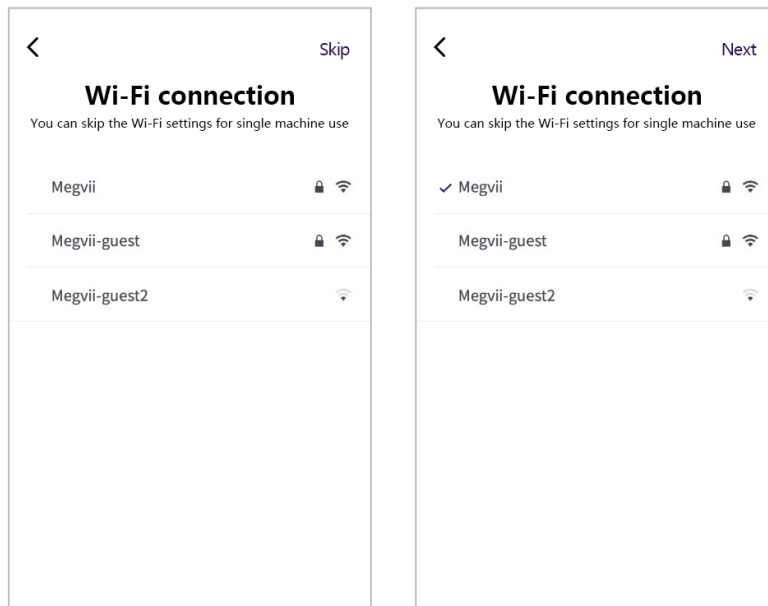
注：Wi-Fi を使用する場合は、この手順を省略して、ワイヤレス ネットワークの構成手順に直接進むことができます。



Wi-Fi 設定：

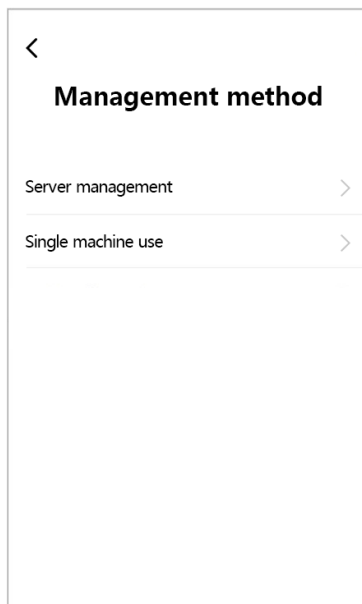
- デバイスの Wi-Fi 機能は、既定で有効になっています。現在利用可能なすべてのホットスポットが表示されます。
- 利用可能な Wi-Fi ネットワークを選択します（パスワードを必要とする Wi-Fi ネットワークのみがサポートされます。）。次に、正しいパスワードを入力し、「Connect」をタップして Wi-Fi ネットワークに接続します。

注：1) 「Standalone Use」管理モードを使用する場合は、Wi-Fi の設定をスキップできません。



2.1.3 管理モードの選択

管理モード選択画面は、次のように表画面示されます。



サーバー管理:

デバイスが Megvii system などにアクセスする必要がある場合は、このオプションを選択します。

- 「Server Management」をタップし、サーバーのアドレス、アカウント、パスワードを入力し、「Next」をタップします。
- サーバーのアドレス、アカウント、およびパスワードが一致しない場合、システムは「Connection failed. Please check the entered content」と表示します。

ネットワーク構成が正しくない場合は、左上隅にある「Back」をタップしてネットワ

ーク構成ページに戻り、ネットワークを再構成します。

スタンドアロン使用：

Pad 単体のみを使用する場合は、「Standalone Use」をタップして次のステップに進むことができます。

注 1： スタンドアロンモードでは、リモート使用できません。モードを切り替えるには、デバイスを工場出荷時の設定に戻す必要があります。

注 2： 工場出荷時の設定をすると、すべてのユーザ データが消去されます。したがって、データを事前にバックアップしてください。

2.1.4 アプリケーションの選択

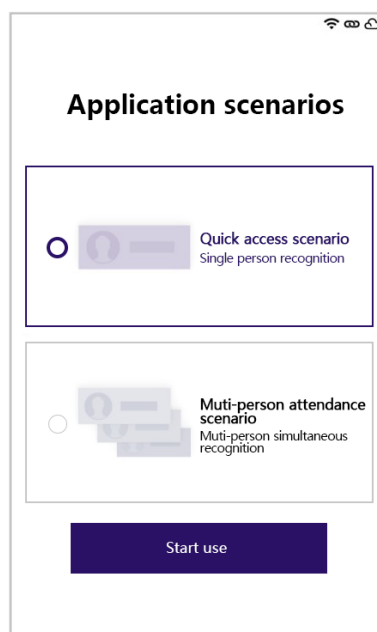
「Quick Access Scenario」と「Multi-person Attendance Scenario」のいずれかを選択できます。

Quick Access Scenario: 単体でのアクセス制御で推奨します。ID 検証（顔、カード、顔、パスワードなど）をサポートします。

Multi-person Attendance Scenario: 大量のユーザーが出勤/退勤のエリアにアクセスする場で使用できます。ID 検証（顔、カード、顔、パスワードなど）はサポートしていません。

- アプリケーションを選択した後、「Start to Use」をクリックしてホームページに移動します。

または、左上隅の「Back」をタップして前のステップに戻ります。



2.2 認識画面

2.2.1 認識画面

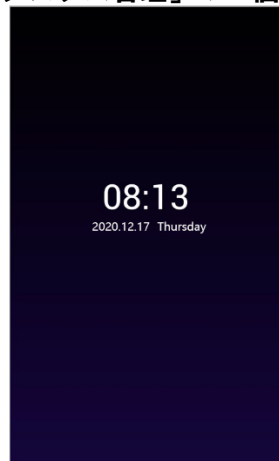


- 認識画面には、現在の時刻、リアルタイムの映像、認識結果、およびその他の情報が表示されます。
- 画面をタップすると、会社名、デバイスの場所、Wi-Fi 接続の状態、有線接続の状態、およびサーバー接続の状態が表示されます。

2.2.2 スタンバイモード

設定された時間よりも長い時間デバイスに対してアクションがない場合、デバイスは自動的にスタンバイモードに入ります。顔を検出するとスタンバイモードに入りません。

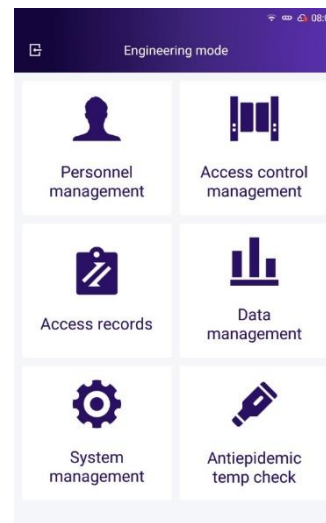
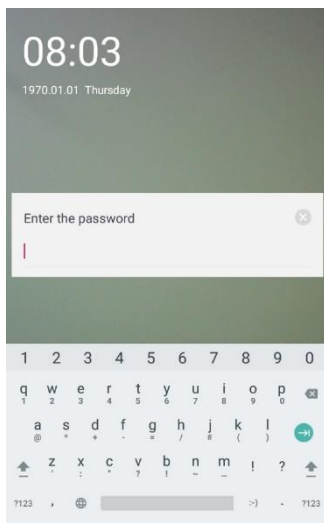
スタンバイ時間は、「システム管理」->「個性設定」で変更できます。



2.2.3 エンジニアリングモード

- 認識画面で、画面の空白部分を長押しして、パスワード入力ボックスを表示します。
- パスワードを入力し、「OK」をタップしてエンジニアリングモードに入ります。
- 顔検出を通じて管理者権限を持っていると判断した場合、パスワード入力ステップをスキップしてエンジニアリングモードに直接入ることもできます。
- 左上隅にある「戻る」ボタンをタップし、「OK」をタップしてエンジニアリングモードを終了します。

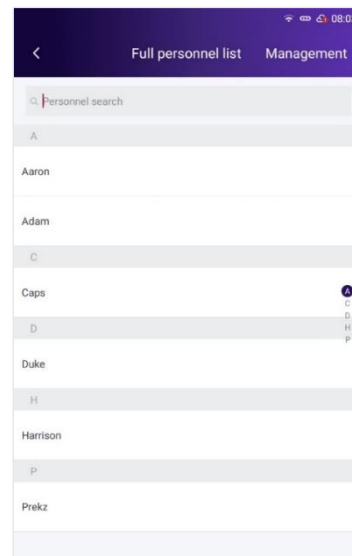
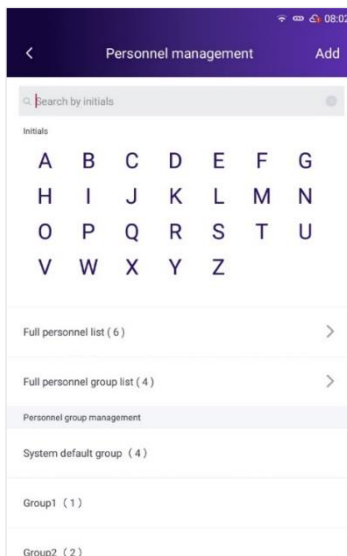
注: 5 分以内に 5 回パスワードが間違っていると、デバイスは 10 分間ロックされます。



2.3 個人管理

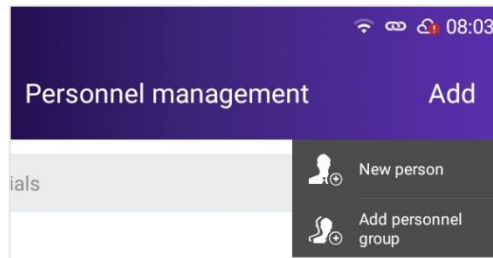
個人管理に移動するには、「個人管理」をタップします。

画面は下の図に示されています。

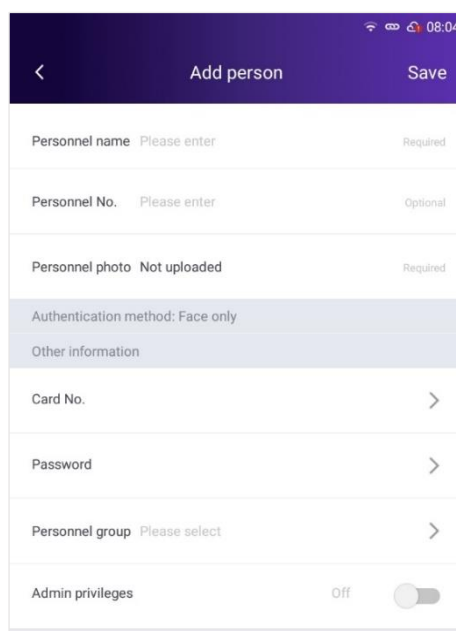


2.3.1 人員の追加 (編集担当者)

注: スタンドアロンモードでのみ使用できます。



- 右隅にある「新規追加」をタップし、「個人の新規追加」を選択します。

A screenshot of the "Add person" form. The title bar is dark purple with a back arrow on the left and "Save" on the right, with the time "08:04". The form contains several input fields: "Personnel name" (Required), "Personnel No." (Optional), "Personnel photo" (Required, "Not uploaded"), "Authentication method: Face only", "Other information" (a section header), "Card No." (with a right arrow), "Password" (with a right arrow), "Personnel group" (Please select, with a right arrow), and "Admin privileges" (Off, with a toggle switch).

- 次の表に、必須項目を入力します。

要項	説明
個人名	必須
個人番号	必須
個人写真	必須、タップして顔画像登録ページに移動
カード番号	任意 カード番号を入力または、画面の下部にカードをかざします。
パスワード	任意。 6 桁でなければなりません
グループ	選択したグループに個人を追加します
管理者特権	選択した場合、そのユーザーに管理者権限が付与されます。

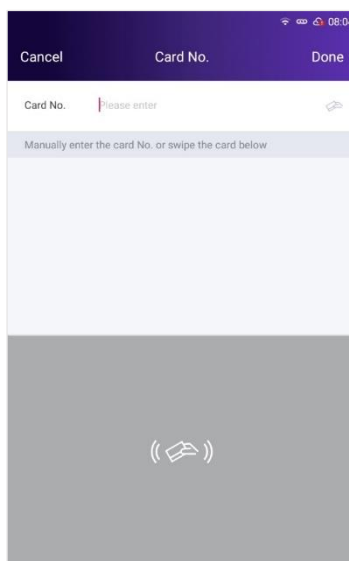
- 個人写真の登録（または更新）

- 「個人写真」をタップして、個人写真登録ページに移動します。
- ユーザーは、円の中に自分の顔が表示するように調整する必要があります。次に、「登録」をタップして顔写真を登録します。
- 登録した写真が不鮮明な場合は、「再登録」をタップして別の写真を登録します。
- 登録後、右上隅にある「保存」をタップして終了します。

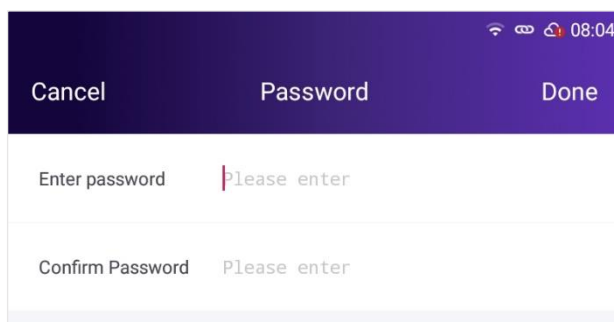


- カード番号登録（または更新）

- 「カード番号」をタップして、カード番号登録/編集ページに移動する。
- 画面に表示されているエリアにカードをかざすと、カード番号を自動的に読み込みます。
- カードをお持ちでない場合は、番号を入力できます。
- 右上の「完了」をタップして、番号を保存します。登録したら画面を終了します。



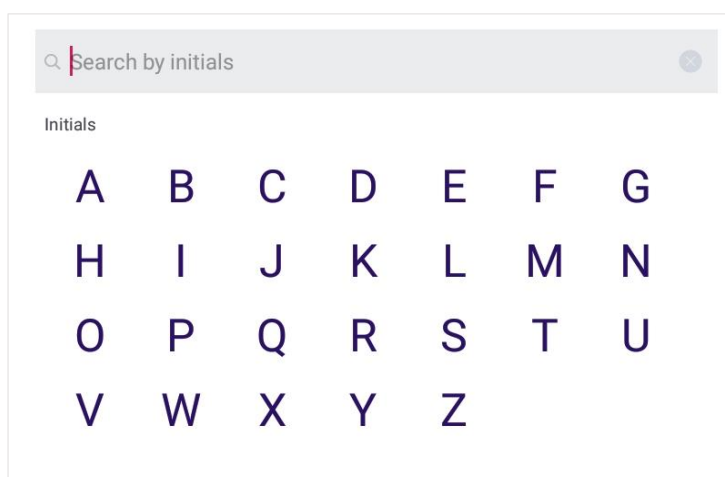
- パスワードの登録（または更新）
 - 「パスワード」をタップして、パスワード入力/編集ページに移動します。
 - 「パスワードの入力」をタップし、6桁のパスワードを入力します。
 - 「パスワードの確認」をタップし、前と同じパスワードを入力します。
 - 「完了」をタップします。パスワードが一致していて、要件を満たしている場合は、新しいパスワードで登録され終了します。



- 管理者権限
 - ユーザーに管理者権限が付与されている場合、ユーザーは顔認識を使用してエンジニアリングモードに入ることができます。

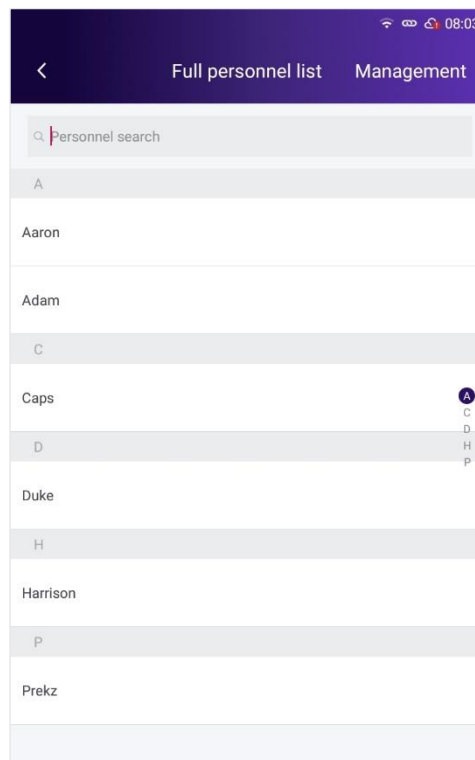
2.3.2 個人の検索と削除

- 個人を検索する

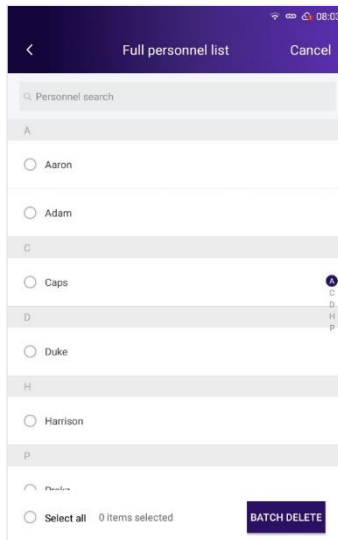


- イニシャルを入力して検索できます

- 全個人リストから人員を検索する

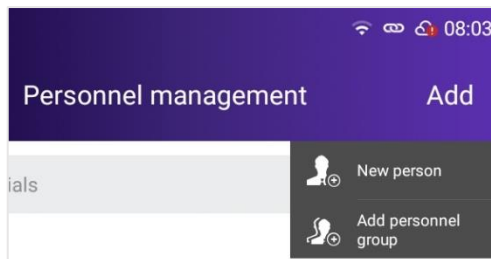


- 「全個人リスト」をタップすると、全登録者のリストが表示されます。
- 検索ボックスをタップして、名前を入力すると検索結果が下に表示されます。
- 全グループリストからの人員の検索
 - [全グループリスト] をタップすると、すべてのグループの一覧が表示されます。
 - 表示するグループを選択します。
 - 検索ボックスをタップし、グループ名を入力し一致するグループが下に表示されます。
- 個別の削除
 - 削除するユーザーの名前をタップします。
 - 編集の詳細ページが開きます。
 - ページの一番下にある「削除」をタップし、確認画面の「OK」をタップすると削除できます。
- 一括削除
 - 「全個人リスト」をタップすると、全登録者のリストが表示されます。
 - 右隅にある「管理」をタップします。
 - 一覧で削除したい人にチェックを入れて、ページの一番下にある「削除」をタップし、確認画面の「OK」をタップして削除します。

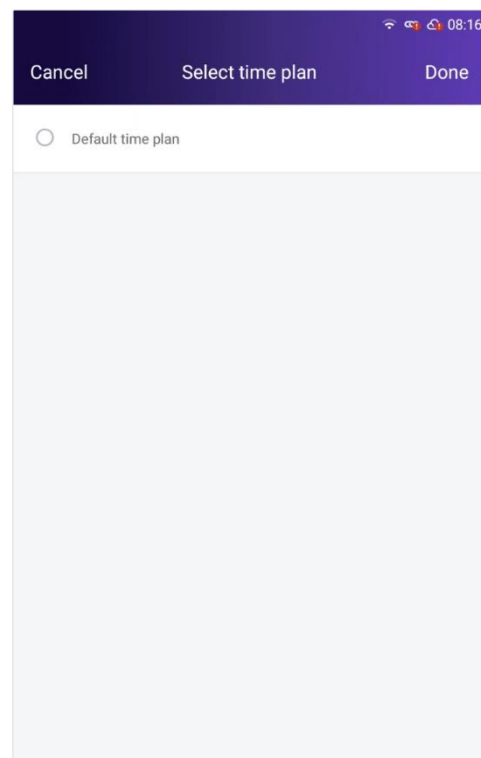
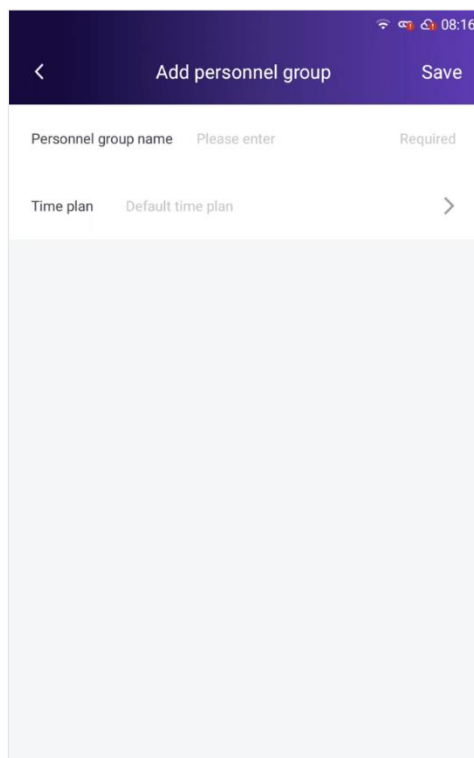


2.3.3 グループの追加

注: スタンドアロン使用モードでのみ使用できます。



- 右隅にある「新規追加」をタップし、「グループの新規追加」を選択します。

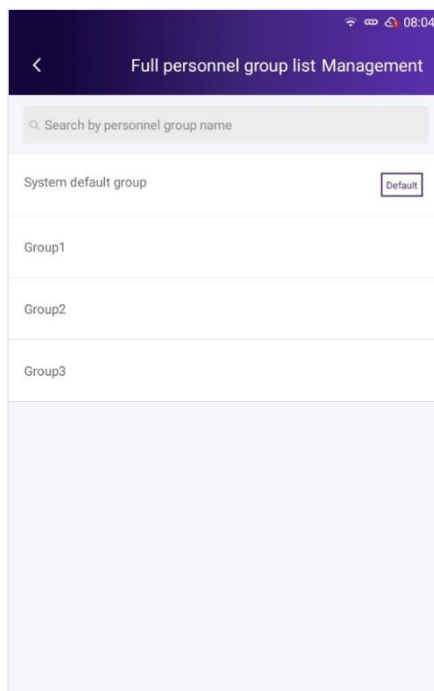


- グループの名前を入力し、時間プランを選択します。
- 右上隅の「保存」をタップして、新しいグループを作成します。

2.3.4 グループの検索と削除

- グループの検索
- 個人管理で、「全グループリスト」をタップして、すべてのグループ一覧を表示します。
- グループは追加された順序で表示され、新しく追加されたグループが最後に表示されます。
- 編集するグループをタップして、グループ内のすべての登録者を表示します。
- 右上隅の「管理」ボタンをタップして複数のグループを選択するか、「すべて選択」をタップしてグループを一括削除できます。削除するグループにまだ登録者が残っている場合、自動的にデフォルトのグループに移動されます。

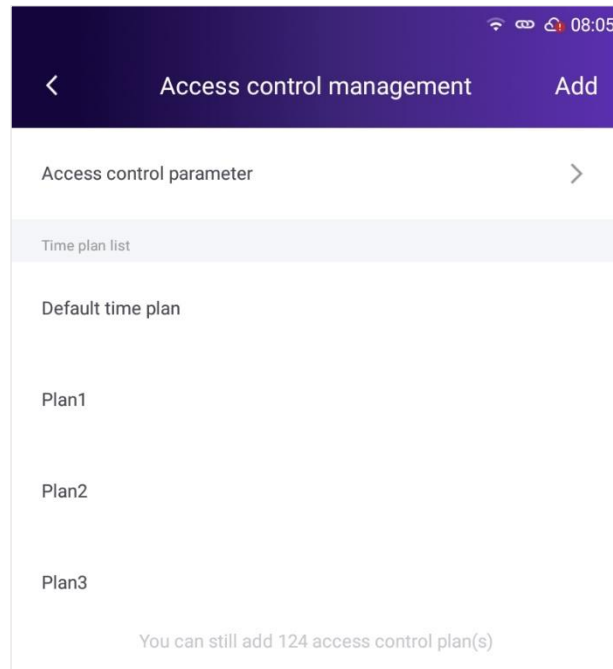
注: 最大 128 のグループを登録できます。



2.3.5 グループ情報の編集

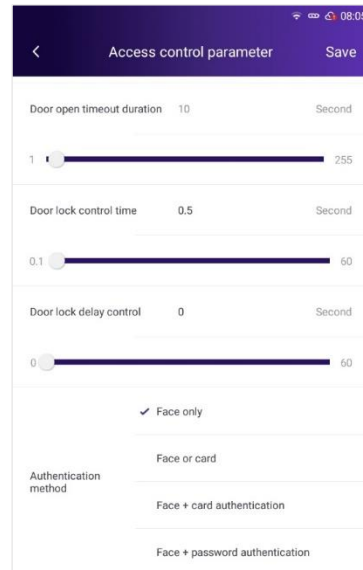
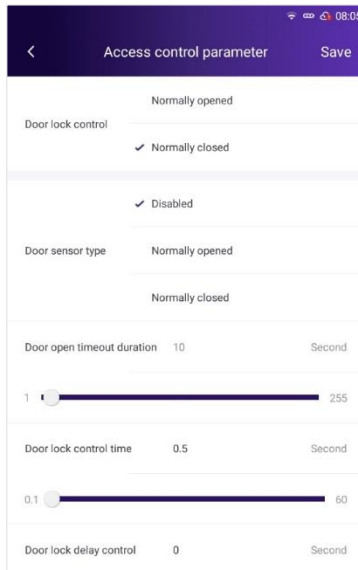
- 個人管理の下部にあるグループ管理で、編集するグループをタップして、選択したグループの情報ページに移動します。
- ここでは、新しいグループ名を入力するか、新しい時間プランを選択することができます (2.3.3 を参照)。

2.4 アクセス制御管理



2.4.1 アクセス制御パラメータ設定

この設定は、ドアロック制御と認証方法に適用されます。



構成項目	説明
施錠制御	施錠制御方法、通常は常閉。
ドアセンサータイプ	電気錠が対応している場合、デバイスに接続してドアが開いているか閉じているかをデバイスで制御できます。対応していない場合は、「有効化しない」(デフォルト設定) を選択します。一般的な設定は「常閉」です。
開錠タイムアウト時間	アラームが鳴るまでのドアの開いたままの時間。アラーム出力をサポートします。値の範囲: 1~255 秒;デフォルト値: 10 秒。
施錠制御時間	ドアのロックが再施錠するまでの時間。値の範囲: 1~60 秒;デフォルト値: 0.5 秒。
遅延施錠制御	ID 認証が成功してから、ドアが開錠されるまでの時間。デフォルト値: 0 秒。
認証方式	<p>使用モードごとに異なる認証方法を選択できます。</p> <p>一人モード:</p> <p>顔認証のみ 顔認証またはカードスキャン (低セキュリティレベル) 顔認証とカードスキャン (高セキュリティレベル) 顔認証とパスワード (高セキュリティレベル)</p> <p>複数人モード:</p> <p>顔認証のみ 顔認証またはカードスキャン (低セキュリティレベル)</p> <p>注: 実際の使用モードに基づいて、認証方法を選択できます。カードスキャンやパスワード認証方法を使用する場合は、事前に関連情報を入力する必要があります。</p>

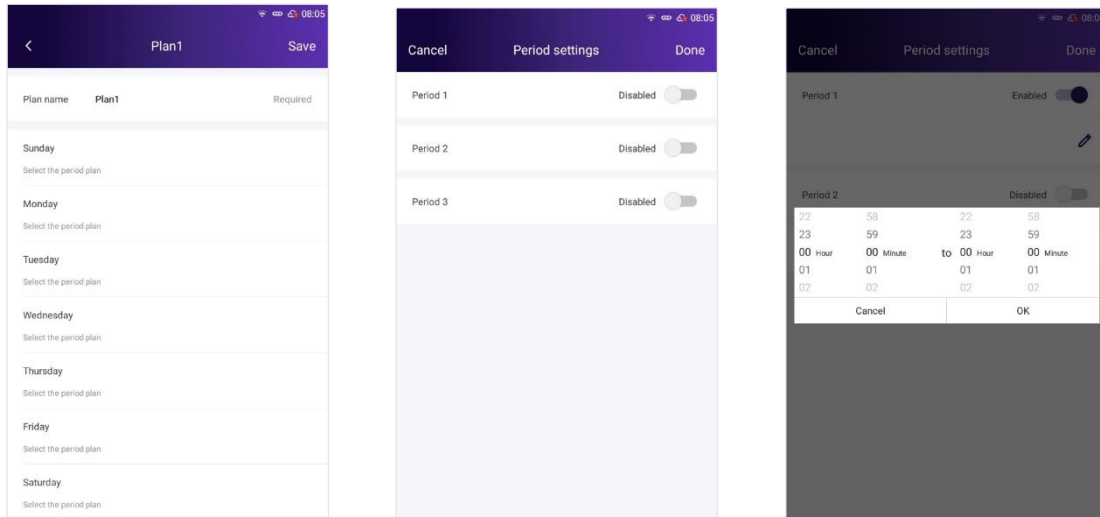
2.4.2 アクセス制御プランの追加

- アクセス制御管理の右上隅にある「新規追加」をタップして、アクセス制御プランの追加ページに移動します。
- 新しいアクセス制御プランの項目に入力してください。
 - プラン名を入力してください。
 - 時間帯の設定: 月曜日から日曜日までの時間を設定します。タップして [時間帯設定] 移動します。各曜日には 3 つの時間帯があり、既定ではすべて無効になっています

。時間帯を有効にすると、編集アイコンが使用可能になり、その時間帯を設定できます。時間帯を設定したら、「完了」をタップして保存し戻ります。

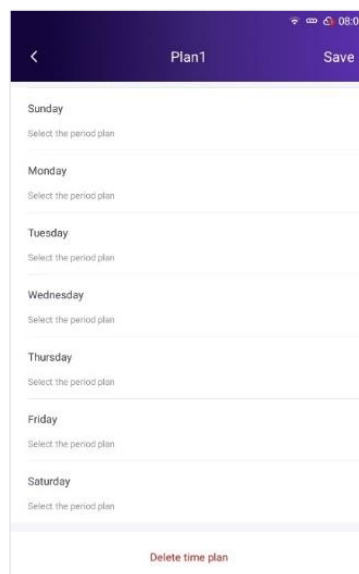
- 時間帯設定情報を入力したら、右上隅の「保存」をタップして、プランを保存します。

注: 時間の終了時刻は開始時刻より後でなければなりません。



2.4.3 アクセス制御プランの変更と削除

- アクセス制御プランの変更
 - リストで変更するプラン名をタップして、選択したプランの情報変更ページに移動します。そこでは、タイムプラン名と時間帯情報を変更できます (2.4.2 アクセス制御プランの追加を参照)。
- アクセス制御プランの削除
 - リストで削除するプラン名をタップして、情報変更ページに移動します。
 - ページの一番下にある「時間プランの削除」をタップしてプランを削除します。

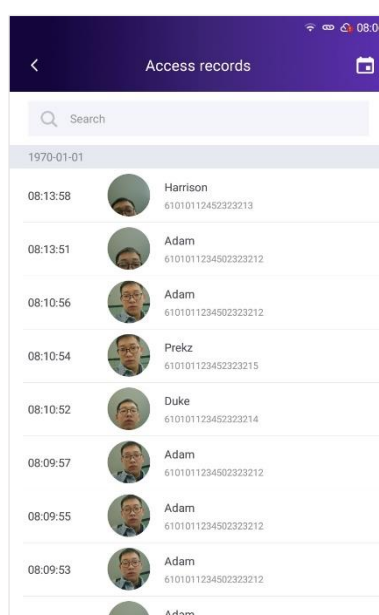


2.5 通行記録

登録者と時間別に履歴を検索できます。

2.5.1 通行記録リスト

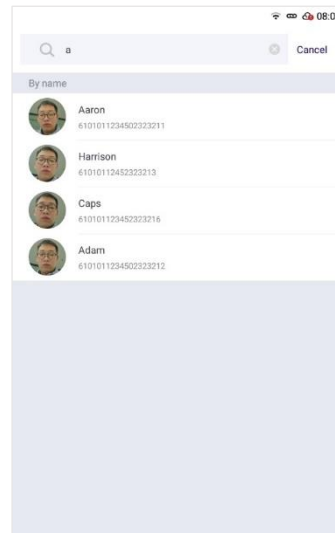
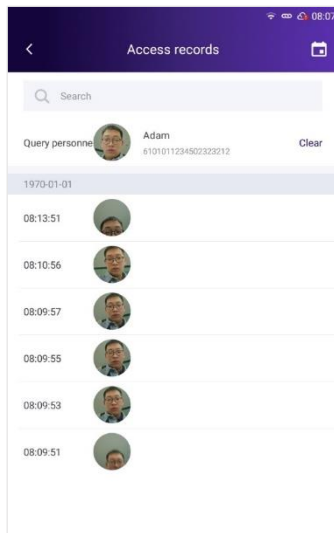
- 通行記録リストには、次の図のように、すべての通行記録が表示されます。
- 通行記録は、時間帯によって表示され、日別にグループ化されます。
- 各通行記録には、アクセス時間、登録者名、個人番号が表示されます。



2.5.2 通行記録の検索

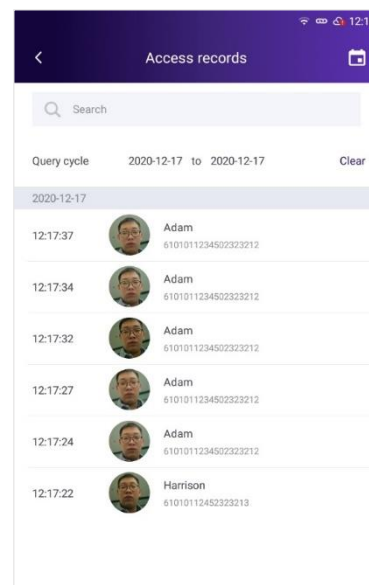
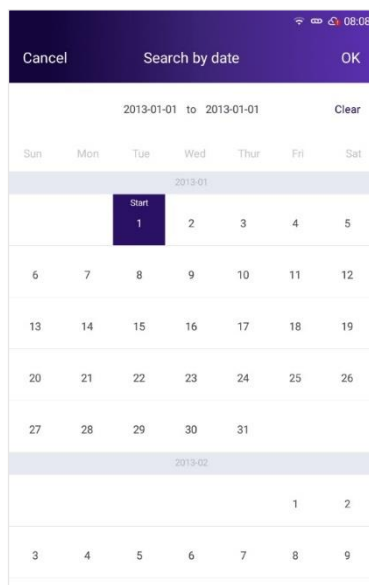
通行記録の上部にある検索ボックスを使用して、特定の個人名または個人番号のレコードを検索します。

- 検索ボックスをタップして検索ページに移動します。検索する名前または番号を入力し、検索結果を表示します。
- 検索結果の人物をタップして、選択した人物の通行記録に移動します。
- 選択した人の右にある「クリア」ボタンをタップすると、すべての通行記録ページに戻ることができます。
- 左上隅にある「キャンセル」をタップすると検索を終了します。



2.5.3 通行記録のカレンダー検索

- 通行記録の右上隅にあるカレンダーボタンをタップして、選択した日付に基づいて通行記録を検索します。
- 通行記録を検索する開始日と終了日を選択します。日付のみをクリックして、通行記録を検索することもできます。
- 日付を選択した後、日付の右側にある「クリア」をタップして、選択した日付をクリアします。
- 右上隅の「OK」をタップすると、選択した時間範囲の通行記録が表示されます。
- 前のページに戻るには、「キャンセル」をタップします。
- 選択した時間範囲の右側にある「クリア」ボタンをタップすると、すべての通行記録のリストに戻ることができます。



2.6 データ管理

すべてのユーザデータを USB に移行しました、工場出荷時の設定に戻すことができます。

- データのエクスポート: 通行記録のエクスポート、個人写真のエクスポート、デバイスパラメータのエクスポート、デバイスデータのバックアップを行うことができます。
- データのインポート: 個人写真、デバイスパラメータ、デバイスデータをインポートできます。
- 工場出荷時のデフォルト設定に戻します。

2.6.1 USB ドライブの接続

- データをインポートまたはエクスポートするには、外部ストレージデバイスを接続する必要があります。
- USB ドライブまたはその他デバイスを、USB TypeC ポートを介してデバイスに接続します。
- USB ドライブまたは他デバイスが接続されていない、読み取れない場合は、データをインポートまたはエクスポートできません。
- USB ドライブまたは他デバイスが読み取れない場合は、「再検出」をタップしてデバイスデータを再度読み取ってください。
- USB ドライブまたはその他デバイスを検出した後、データのインポートとエクスポートを実行できます。
- 工場出荷時の設定に戻すために、USB ドライブやその他の記憶装置を接続する必要はありません。

注: デバイスがサーバまたは MegviiCloud モードの場合、写真をインポート/エクスポートしたり、デバイスデータ全体のバックアップを実行したりすることはできません。



2.6.2 データのエクスポート

- 通行記録のエクスポート

USB ドライブまたはその他デバイスに接続した後、通行記録をエクスポートできます。

エクスポートされるコンテンツには、次の内容が含まれます。

通行記録の表 (.xls 形式) :

キャプチャ映像 (.jpg 形式)。

エクスポートパス : USB ドライブのルートディレクトリにある event_log フォルダーに保存。

注: 以前にエクスポートしたデータが既に存在する場合、ルート ディレクトリに「event_log、event_log2」という名前の複数のフォルダが作成されます。

- 個人写真をエクスポート

USB ドライブまたはその他デバイスに接続した後、個人写真をエクスポートできます。

エクスポートされるコンテンツには、次の内容が含まれます。

- 人件写真 (.jpg 形式)

エクスポートパス: USB ドライブのルート ディレクトリにある person_pic に保存。

注: 以前にエクスポートされたデータを上書きする場合注意してください。

- デバイスパラメータのエクスポート

USB ドライブまたはその他デバイスに接続した後、デバイスパラメータをエクスポートします。

デバイスパラメータには、次の内容が含まれます。

アクセス制御パラメータ: ドアロック、ドアセンサー、認証方法に関連するデバイスパラメータ

ネットワークパラメータ: イーサネットと Wi-Fi 接続に関連するデバイスパラメータ。

通信パラメータ: wiegand の構成に関連するデバイスパラメータ。

顔パラメータ: 顔認識のしきい値、ライブネスしきい値に関連するデバイスパラメータ。

エクスポートパス: USB ドライブのルート ディレクトリにある device_config に保存。

注: 以前にエクスポートされたデータを上書きする場合注意してください。

- 本体全体のデータバックアップ

USB ドライブまたはその他デバイスに接続した後、デバイスデータのバックアップを実行できます。

全体のデータには、通行記録を除くデバイスのすべてのデータが含まれます。

エクスポート パス: USB ドライブルートディレクトリにある device_data に保存。

注: 以前にエクスポートされたデータを上書きする場合は注意してください。

2.6.3 データのインポート

- 個人写真をインポートする

「個人写真のインポート」をタップして、インポート選択画面に移動します。

写真名:登録者名/人事番号

インポートするファイルのパス: USB ドライブルートディレクトリ→person_pic.

サポートされているファイル形式は、.jpg・png・.bmp です。

- デバイスパラメータのインポート

「デバイスパラメータのインポート」をタップすると、接続されている USB ドライブやその他デバイスからデバイスパラメータファイルが自動的に読み込まれます。

インポートするファイルのパス: USB ドライブのルート ディレクトリ→device_config

インポートが完了すると、インポート完了の表示がされます。

選択したフォルダにインポートするファイルが見つからない場合は、「device_config ファイルが検出されませんでした」というメッセージが表示されます。

デバイスパラメータをインポートすると、「インポートしたデータを有効化するには、アプリの再起動が必要です」と表示します。

「OK」をタップしてデバイスを再起動するか、「キャンセル」をタップするかして下さい。

- 本体データをインポートする

「本体全体データのインポート」をタップすると、接続されている USB ドライブやその他デバイスからバックアップファイルが自動的に読み込まれ、インポートされます。これにより、デバイス上にある元のデータが消去されます。

インポートするファイルのパス: USB ドライブのルート ディレクトリ→device_data

インポートが完了すると、インポート完了が表示されます。

デバイスパラメータをインポートすると、「インポートしたデータを有効化するには、アプリの再起動が必要です」と表示します。

「OK」をタップしてデバイスを再起動するか、「キャンセル」をタップするかして下さい。

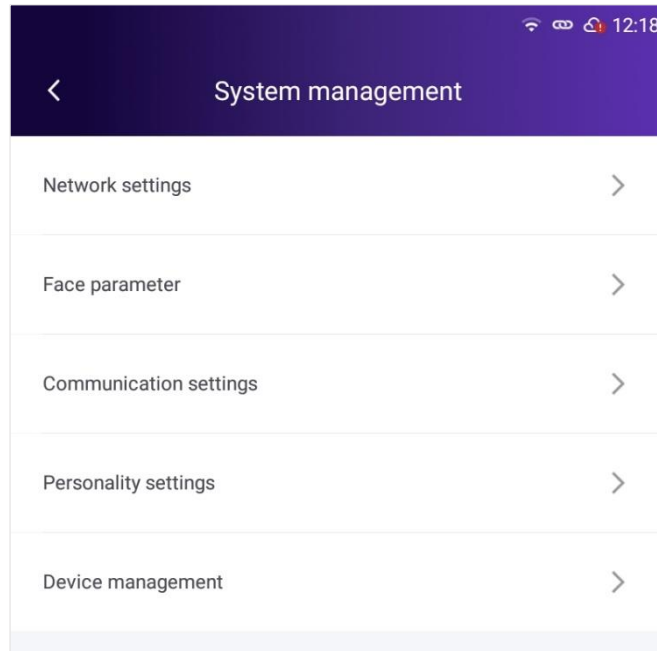
2.6.4 工場出荷時設定の復元

データ管理では、工場出荷時のデフォルト設定を復元できます。

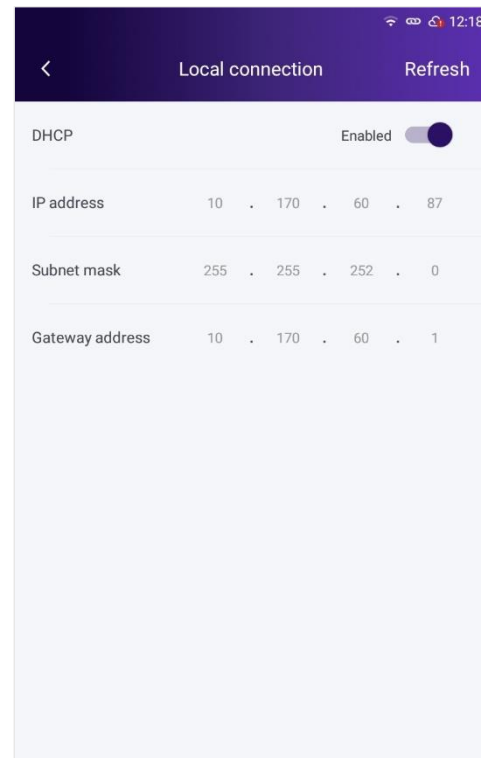
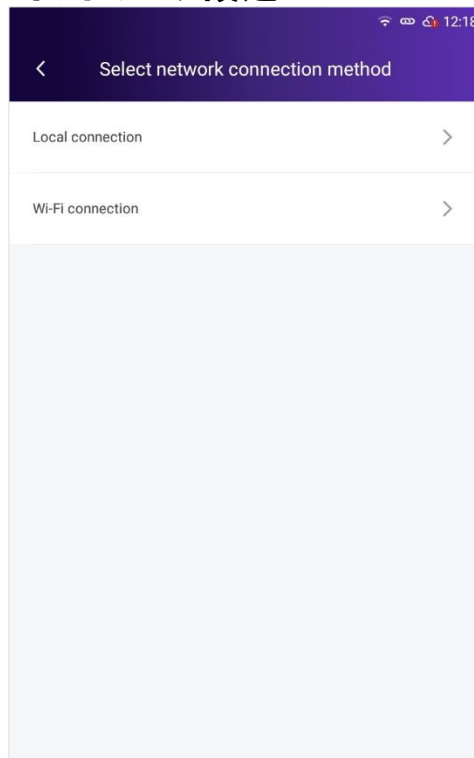
- 「荷時設定復元」をタップすると、「出荷時設定復元ではデバイス内の全データをクリアし、デバイスが再起動します。続けて宜しいですか?」という確認画面が表示されます。
- 「続行」をタップして工場出荷時の設定に戻し、デバイスを再起動します。前の手順に戻る場合は [キャンセル] をタップします。

2.7 システム管理

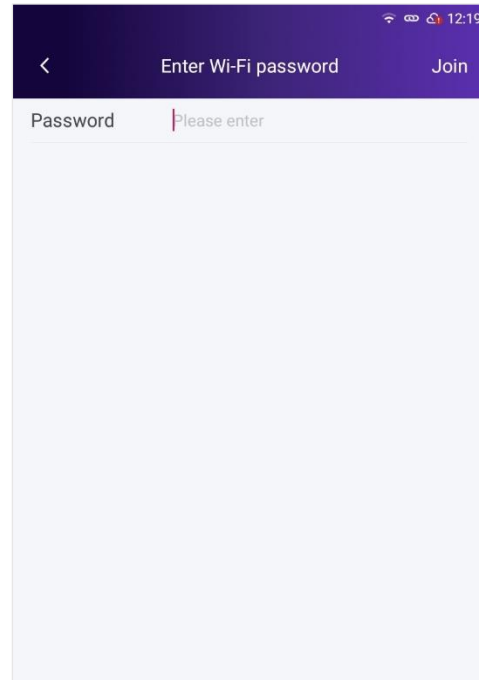
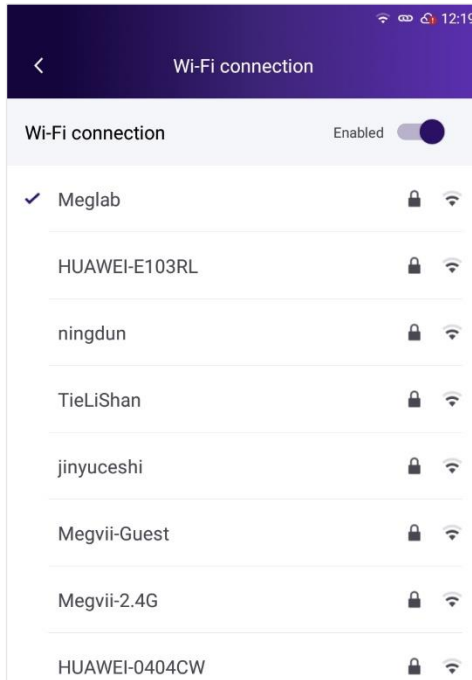
ネットワーク設定、顔パラメータ、通信設定、個性設定、デバイス管理などのシステム管理機能を設定できます。



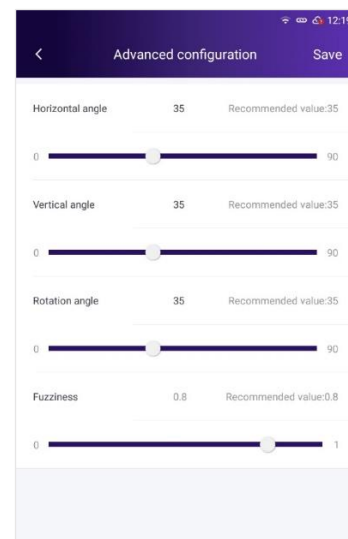
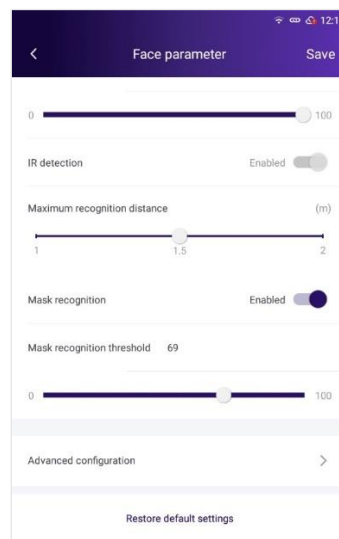
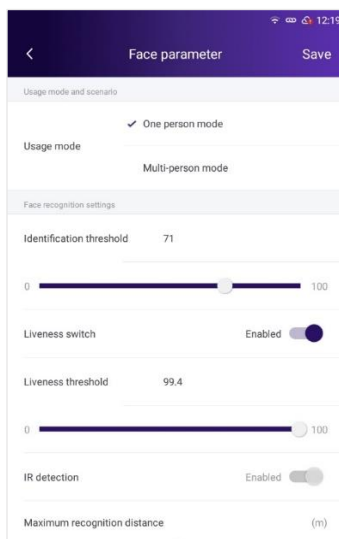
2.7.1 ネットワーク設定



- ローカル接続
 - 「ローカル接続」をタップして、設定ページに移動します。
- Wi-Fi 接続
 - 利用可能な Wi-Fi ネットワークを選択し、正しいパスワードを入力し、[参加] をタップしてネットワークに接続します。



2.7.2 顔パラメータ



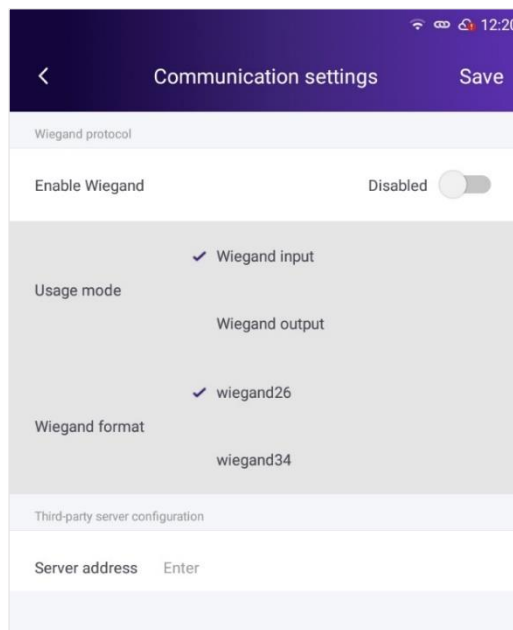
構成項目	説明
使用モード	一人モードまたは複数人モードの選択
識別しきい値	値の範囲: 0~100;デフォルト値: 71。値が大きいほど、セキュリティは高くなります。
生体スイッチ	既定で有効になっています。ライブネス検出が無効になっている場合、ライブネスしきい値を設定できず、IR 検出を有効にできません。
生体しきい値	値の範囲: 0~100;デフォルト値: 99.4。値が大きいほどセキュリティが高くなります（ただし、誤作動が発生するため、100に設定することはお勧めしません）。
IR 検出	既定で有効
最大識別距離	値の範囲:1メートル、1.5メートル、および2メートル。デフォルト値: 1.5 m
マスク識別	既定で有効になっています。マスク識別が無効になっている場合、マスク検出は無効になり、マスク識別しきい値を設定できません。
マスク識別しきい値	値の範囲: 0~100;デフォルト値: 69。値が大きいほど、セキュリティは高くなります。
水平角度	値の範囲: 0 -90（度）;推奨値: 35。値が大きいほど、顔の水平角度が大きくなることを示します。
垂直角度	値の範囲: 0 -90（度）;推奨値: 35。値が大きいほど、顔の垂直角度が大きくなることを示します。
回転角度	値の範囲: 0 -90（度）;推奨値: 35。値が大きいほど、顔が傾いていても認識できることを示します。
曖昧度	値の範囲: 0-1;推奨値: 0.8。値が大きいほど、顔は写真と比較されやすくなります。

● デフォルトに戻す

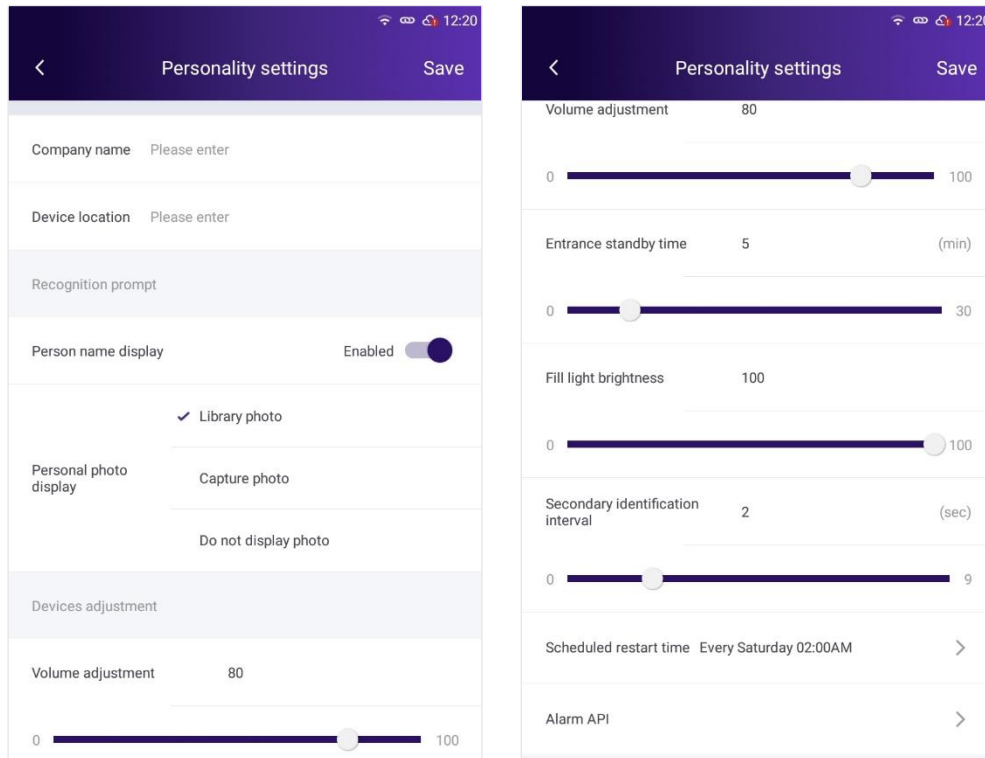
- [デフォルトに戻す] をタップすると、デフォルトの設定に戻すかどうかを確認する必要があります。
- 「OK」をタップすると、顔パラメータがデフォルト値に戻ります。戻る場合は [キャンセル] をタップします。

2.7.3 通信設定

- Wiegand プロトコル
 - Wiegand を有効または無効にすることができます。
 - 有効にすると、「Wiegand 入力」または「Wiegand 出力」使用モードを選択できます。
 - 「ウィーガンド入力」を選択した場合は、「wiegand26」または「wiegand34」形式を選択できます。
 - 「ウィーガンド出力」を選択した場合は、「Wiegand 26」または「Wiegand 34」形式を選択し、コンテンツとして「個人カード番号」または「個人番号」を設定することができます。
- サードパーティのサーバー構成
 - サーバーアドレスを入力できます。デバイスは、すべてのパス 記録をサードパーティサーバーにアップロードします。

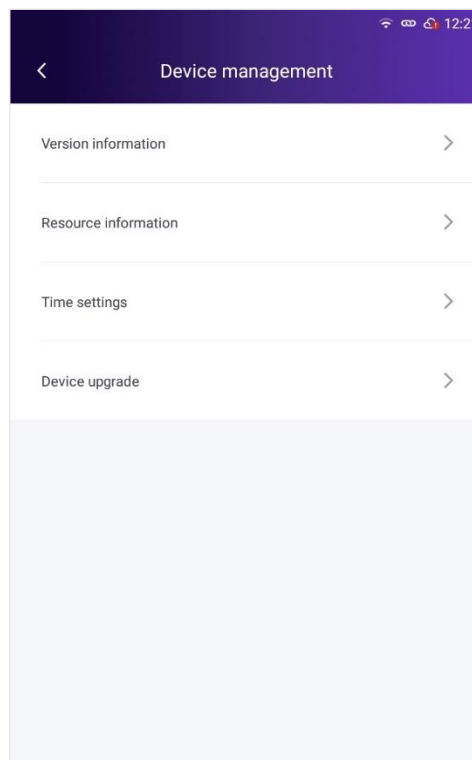


2.7.4 個性設定

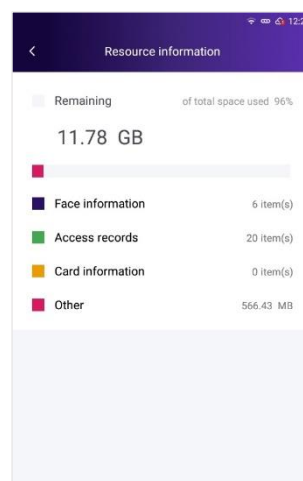


構成項目	説明
会社名	会社名を設定します。
デバイスの場所	デバイスの場所を設定します。
個人名の表示	認識結果で名前を表示するかどうか。
個人写真の表示	認識結果にキャプチャされた画像やライブラリの写真を表示する。
音量調整	システム音量を調整します。
待機時間に入る	デバイスがスタンバイモードに入るまでの時間を設定します。
補助光明度	画面の最大光を設定します。
二次識別間隔	値の範囲: 0~10 秒;デフォルト値: 2 秒。
タイマーリセット時間	スケジュールされた再起動時間を有効または無効にします。
警告インターフェース	警報入力 1、警報入力 2、警報出力、およびその他を設定できます。

2.7.5 デバイス管理

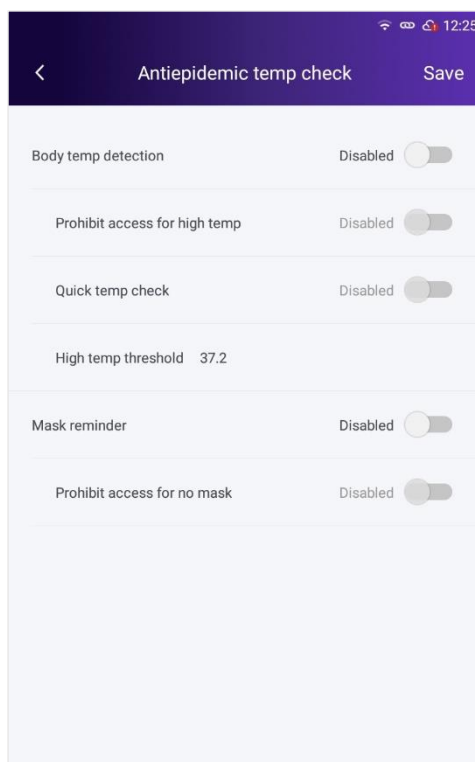


- バージョン情報
 - このページには、デバイス型番、デバイスシリアル番号、MAC アドレス、ファームウェアバージョン、ROM バージョン、アルゴリズムバージョン、およびデバイス言語が表示されます。
- リソース情報
 - このページには、残りのストレージ、顔情報の数、通行記録数、およびカード情報数が表示されます。



- 時間構成
 - タイムゾーン、システム時間、NTP 設定を変更できます。
 - NTP を有効または無効にします。
 - NTP サーバ、ポート、および時間校正間隔を設定します。
- デバイスアップグレード
 - このページには、現在のバージョンが表示されます。
 - [検出更新] をクリックして、更新プログラムを検索します。OTA および USB アップデートがサポートされています。USB 更新プログラムの場合は、更新ファイルの名前を ".apk" に変更し、ルート ディレクトリに配置します。「検出更新」をタップしてアップグレードパッケージを見つけ、「USB メモリアップデートアプリ」をタップします。

5.8 感染症対策の体温測定



体温測定、マスク着用の注意喚起、その他の機能を有効にするかどうかを設定できます。設定を行った後、右上隅にある「保存」をタップして設定を保存します。

- 体温測定
 - この機能が有効な場合、人の体温を測定し認識結果ページに温度を表示します。高温が検出された場合は、警告が表示されます。
 - 高熱のため入室禁止: この機能が有効な場合、高温が検出されたらドアが開きま

せん。

- 高速体温測定: 有効にすると、ID 検証なしで温度のみをチェックします。
- 高温しきい値: 高温しきい値を設定できます。しきい値を超える温度は、高温と見なされます。値の範囲: 36.5° C-38.5° C。

1. 体温測定は、温度検出モジュールがデバイスに接続されている場合にのみ有効にできます。

2. 認証モードは「顔」に変更されます。

● マスク着用の注意喚起

- この機能が有効な場合、マスクのないユーザーが検出されたときにアラートを出します。
- マスク未着用の方は入室禁止です: 有効にするとマスクのない人にはドアを開けません。

注: [マスク着用の注意喚起] が有効になっている場合、認証モードは「顔」に変更されま

す。

安全上の注意



警告

製品の設置および使用時には、国および地域の電気安全規則に厳密に従う必要があります。

出荷時の電源アダプタを使用して下さい。

火災や感電のリスクを低減するために、雨や湿気から製品を保護してください。使いやすい電源遮断装置は、建物の設置配線に組み込む必要があります。製品が壁または天井に取り付ける場合は、しっかりと取り付けられていることを確認してください。

製品が正常に動作しない場合は、製品を購入したサービスプロバイダに連絡してください。製品を分解したり、改変したりしないでください。

(弊社は、不正な変更や修理による問題に対して一切責任を負わないものとします。)



注意

振動や衝撃が発生しやすい地域や、電磁干渉源の近くに製品を設置しないようにしてください。製品が破損する可能性があります。

火傷を避けるために、製品の放熱ファンに触れないでください。

本製品を、水や他の液体のかかる可能性のある環境に設置しないでください。

非常に高温、非常に寒い、ほこりっぽい、腐食性、または高湿度の環境で製品を使用しないでください。特定の温度 および湿度の要件については、製品表を参照してください。

強い光源（照明器具、太陽光、レーザー光など）でレンズを照らさないようにしてください。

熱の蓄積を避け、製品の周りを常に換気しましょう。

イメージセンサーに直接触れないでください。センサーを洗浄する場合は、アルコールで柔らかい清潔な布を湿らせ、ほこりを軽く拭き取ります。製品を使用しない場合は、イメージセンサーを保護するためにカバーしてください。